

樋口 正美 さん（当協会幹事、伊丹市体育協会副会長）の投稿です。

国際交流はすばらしい

私が初めて海外に出かけたのは、今から39年前の昭和54年（1979年）の夏休みでした。行き先はヨーロッパでしたが、どうしてもエジプトのピラミッドが見たかったのです。成田からカイロまで22時間かかりました。途中バンコク（タイ）、カラチ（パキスタン）、テヘラン（イラン）へ寄港しました。テヘランでは機内に兵士が入ってきて、胸に自動小銃を突きつけられ怖かったことを今でも覚えています。

カイロの博物館で、衝撃的な出来事に出会いました。左足を前に出した槍を持った兵士の像があり、通訳さんが「だから、世界中で行進の第一歩は左足を出すんです。」と言われました。「な！なんで？」私は中学校の体育教師ですが、知らなかったのです。「あなたの心臓はどこについているの？」、「勇気を示しているのです。」と言われ納得しました。

その後、平成元年（1989年）に、兵庫県で初めての「国際交流研究」に荒牧中学校が指定されました。平成2年の夏休みに、2年生11名を連れてニュージーランドへ2週間のホームステイの旅に出かけました。オークランド空港に無事到着しましたが、団長の私の荷物が出てこない。3日後の真夜中に無事届きましたが、柔道着だけで過ごし苦労しました。2年後にも再び11名を連れて行きましたが、トラブルはありませんでした。

これまで東南アジア3カ国、中国（佛山市他）、台湾一周などに出かけ様々なことを体験し、多くを学びました。

昨年から私が会長をしている相撲協会の稽古に、カナダ国籍の兄弟が宝塚市から参加しています。少年は「テレビを見ていたら、相撲がやりたくなった。」と言っています。真面目に毎週通っています。思わぬところで国際交流がまたでき、私は英会話も楽しんでいます。

今年のラグビーワールドカップ、そして来年のオリンピックは、国際交流の大チャンスです。皆さんも積極的に話しかけましょう。



相撲の稽古に来ているエチャー兄弟



弟のアーネスト君

ベルギー王国ハッセルト市へ、鯉のぼりを贈りました

2018年初夏よりお声掛けし、当協会員の皆さまにもご寄贈いただいた鯉のぼりを、国際姉妹都市ハッセルト市の日本庭園へ贈りました。同園は、1992年に伊丹市の技術協力により建設され、2017年には外務大臣表彰を受賞しています。さらに、2.5ヘクタールもの広大な敷地では、毎年お花見や七夕などの日本文化の紹介イベントが実施されています。今年は、伊丹市からの贈り物の鯉のぼりが、ベルギーの空を泳ぐことでしょう。



★伊丹市国際・平和交流協会 ボランティア募集★

当協会では日本語学習サロンのボランティア講師として活動していただける方を募集しています。楽しい仲間と一緒に活動してみませんか。交流の輪が広がりますよ♪お申し込み・お問い合わせは、事務局（伊丹市国際・平和課内）まで。

